



平成 29 年度

自然再生士資格試験 受験の手引き



〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル
TEL 03-3585-3561 FAX 03-3582-7714

<http://www.jpgreen.or.jp>

平成29年度 自然再生士資格試験 受験の手引き

< 目 次 >

1. 自然再生士資格制度の概要

(1) 「自然再生士」とは.....	1
(2) 自然再生士資格制度の基本構成.....	1
(3) 自然再生士資格試験スケジュール.....	2

2. 自然再生士資格試験の案内

(1) 受験資格.....	3
(2) 自然再生士資格試験.....	3
(3) 受験手続き.....	4
(4) 試験内容.....	5
(5) 受験に際しての注意.....	5
(6) 合否判定.....	6
(7) 登録・認定.....	7
(8) 登録更新・再認定.....	7

3. 受験申込書の記入について

(1) 記入方法.....	8
(2) 申込書等の書式.....	10

1. 自然再生士資格制度の概要

(1) 「自然再生士」とは

「自然再生士」とは、自然再生に必要な知識・技術・経験を有する、自然再生の推進者です。

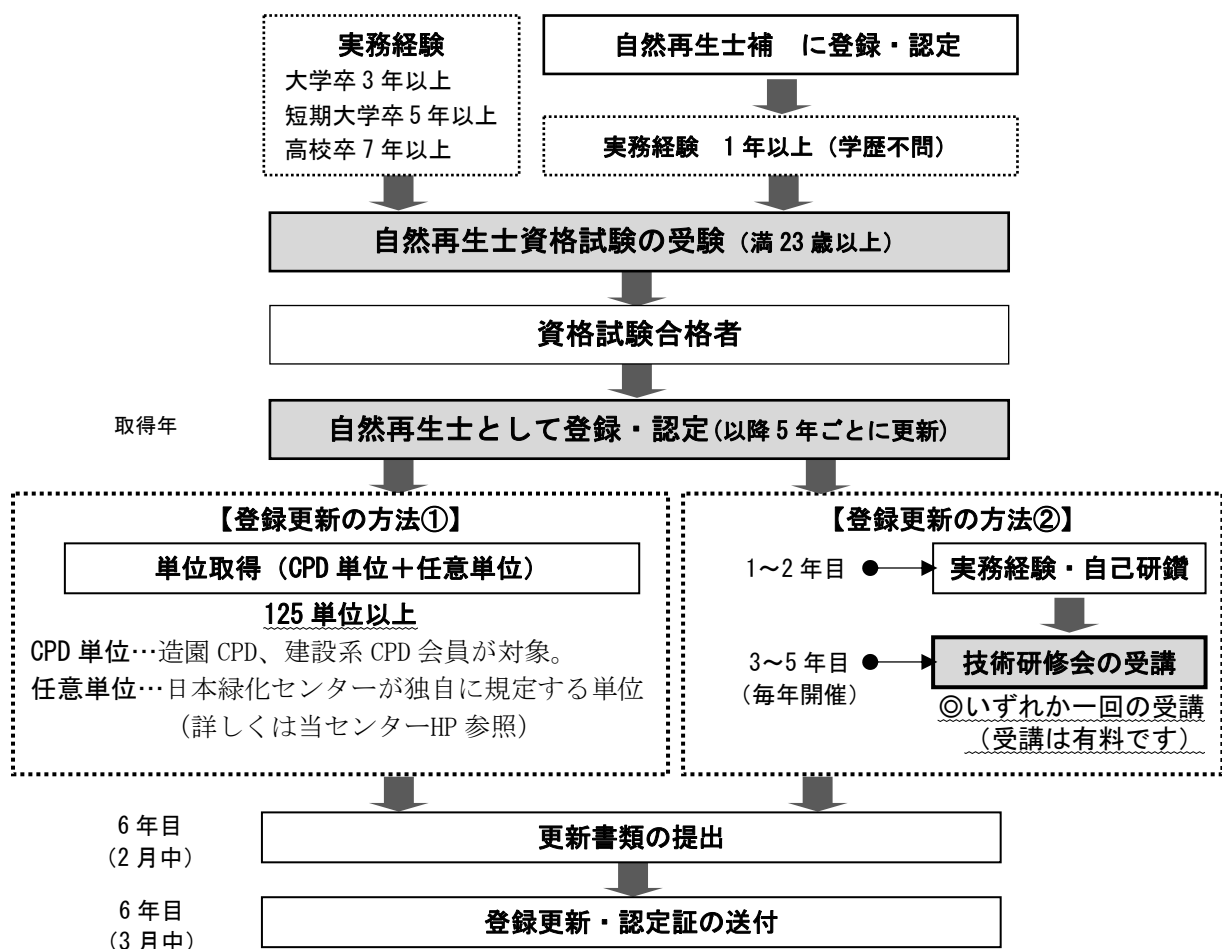
「自然再生士」には、自然再生に係る事業全体を把握し、調査・計画・設計・施工・管理の、各々の事業段階において行われるべき業務や活動において、これに係わる人々をコーディネートするとともに、自ら担当する自然再生を実行できる能力が求められます。

<資格名称>

自然再生士

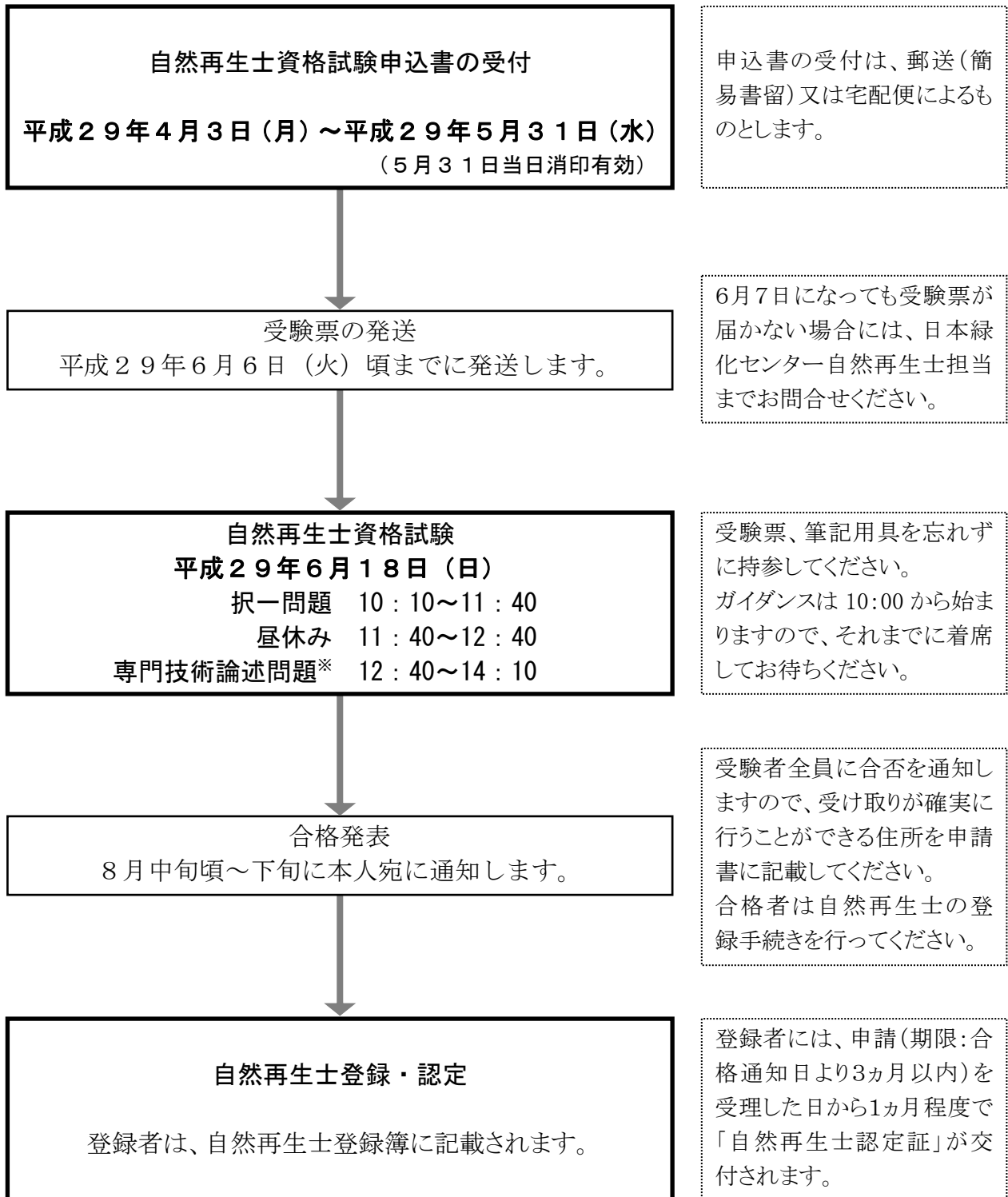
Nature Restoration Promoter

(2) 自然再生士資格制度の基本構成



自然再生士制度の仕組み

(3) 自然再生士資格試験スケジュール



※試験会場での論述式試験解答は、専門技術論述問題のみとなり、経験論述問題の解答は、事前提出となります。

この事前提出の経験論述解答は、採点対象となります。

2. 自然再生士資格試験の案内

(1) 受験資格

満23歳以上（受験年度の4月1日時点）の方で、自然再生に係る以下の実務経験年数を有する方が受験できます。

- ① 大学卒 3年以上
- ② 短期大学卒 5年以上
- ③ 高校卒 7年以上
- ④ 自然再生士補 1年以上

注)

- ・自然再生に係る実務経験には、社会人になってからのボランティア活動や、調査・研究、人材育成（環境教育等）も含まれます。
- ・在学期間中（大学院含む）に行われた活動や研究は実務経験に含みません。
- ・自然再生セミナーを修了し自然再生士補の認定を受けた方で、社会人となって1年以上の方については、自然再生士補の認定を受ける以前の実務経験も含まれます。
- ・認定校制度により自然再生士補の認定を受けた方で、卒業後社会人となって1年以上の実務経験を言います。なお、前年度の10月期に補資格認定を受けた方もその年度の4月にさかのぼり、1年間の実務経験として認められます。

(2) 自然再生士資格試験

試験日時	平成29年6月18日（日）10:00～14:10
集合時間	10:00 からガイダンスが始まりますので、受験番号によって指定された位置に着席してお待ちください。
入室時間	9:30 から入室できます。時間にゆとりを持ってお越しください。
試験会場	東京会場：ハロー貸会議室東京駅八重洲北口1階 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-1-8 コンタツビル (会場の詳細につきましては、受験票の裏側に印刷します。)

<時間割>

時間	内容
10:00～10:10	ガイダンス
10:10～11:40	択一問題
11:40～12:40	<昼休み>
12:40～14:10	専門技術論述問題

(3) 受験手続き

1) 受験手続に必要な書類等

- ① 自然再生士資格試験申込書（様式第1号）（p11）
 - ・貼付する写真は本人単身、無帽、胸から上、最近6ヵ月以内撮影のものとし、裏面には、氏名、本籍地を油性ペンで記入してください。
- ② 実務経歴書（様式第2号）（p13）
- ③ 経験論述（様式第3号）（p15・17） **※事前提出が必須です。**
HPからも入手可能です。URL: <http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p05.html>
- ④ 自然再生士補の方は、自然再生士補認定証の写しを本書類に添付してください。
- ⑤ 受験手数料の振込証明書（所定の欄に貼付）
- ⑥ 写真 1枚
 - ・①（様式第1号）に貼付した写真と同じものを、もう1枚クリップ止めしてください。
 - ・写真の裏面には、氏名、本籍地を油性ペンで記入してください。
- ⑦ 郵便ハガキ（受験票用）1枚
 - ・表面に宛名[受験者本人の郵便番号・住所・氏名]を必ず明記してください。
 - ・住所の表記は正確に、マンション名、部屋番号を明記してください。
 - ・裏面は無地で、絵葉書等裏面印刷ができないものは不可とします。
 - ※受験番号及び受験会場を印刷し、6月6日頃までに返送いたします。

2) 申込書の受付

- ① 申込書の受付は、郵送（普通郵便または簡易書留）によるものとします。
- ② 受付期間 平成29年4月3日（月）～平成29年5月31日（水）
（当日消印有効）
- ③ 送付先 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル
一般財団法人 日本緑化センター 自然再生士資格試験担当 宛

3) 受験手数料のお振り込み

- ① 受験手数料
一般受験者・・・・・・・・・・15,000円（税込）
自然再生士補認定者・・・・・・・・12,000円（税込）※認定書の写しの提出が必須

- ② 振込先 三井住友銀行 東京公務部
《受験手数料の振込先》

振込銀行名	三菱東京UFJ銀行 東京公務部(300)
預金の種別	普通預金
口座名	ザイニホンリョツカセンター
口座番号	0000393

又は郵便振替

口座記号	00140-6-250144
口座番号	
加入者名	一般財団法人 日本緑化センター
通信欄	自然再生士資格試験

(4) 試験内容

1) 試験内容と配点

設問内容	問題数	配点	時間
択一問題	30題 4者択一	60点満点 (1題2点)	90分間 10:10~11:40
専門技術論述問題	5題の内2題選択 800字(1題400字)	30点満点 (2題合計)	90分間 12:40~14:10
※経験論述	1題 800字	10点満点	※資格試験申込み時 事前提出(必須)

2) 択一問題

択一問題は、以下の分野から出題されます。

※陸域生態系から水域・海洋生態系に関わる内容を含みます。

- ① 自然再生総論
- ② 計画・設計
- ③ 施工・管理
- ④ 生態系(植物、鳥類、昆虫など)
- ⑤ 技術者倫理・関連法規

3) 専門技術論述問題

専門技術論述問題は、以下の分野から出題される問題から、2題を選んで、1題あたり400字以内で論述します。

- ① 企画・計画分野
- ② 設計・設計監理分野
- ③ 施工・施工管理分野
- ④ 維持管理分野
- ⑤ 市民活動分野

4) 経験論述 ※自然再生士資格試験申込み時に事前提出(必須)

経験論述問題は、実務経歴書(様式第2号)に記載された実務経験の中から1つを選んで、規定の用紙に800字以内で記述し事前に提出します。

実務経験は、職業等として行っている業務(調査・研究を含む)・ボランティア活動等市民参加型社会活動・人材育成活動(環境教育を含む)に係る内容を含むものとします。

(5) 受験に際しての注意

1) 受験に必要なもの

試験中は、以下のもの以外はカバン等にしまってください。

- ① 受験票(机の受験番号の下に、試験監督員に見えるように置いてください)
- ② 筆記用具(黒色の鉛筆(B)、シャープペンシル(B)、消しゴム)
- ③ 時計(携帯電話は不可) 端末に接続が可能な腕時計も不可とします。
会場に設置される時計を基準とします。
- ④ その他(一財)日本緑化センターが許可したもの

2) 受験に際しての注意事項

- ① 試験当日は9：30から入室できますので、時間に余裕をもって早めに来場してください。
- ② 10：00からガイダンスが始まりますので、それまでに受験番号によって指定された場所に着席し、受験票を机の上に置いてください。
- ③ 受験票を忘失した方は、必ず受付で再発行を受けてください。受験票がないと受験できません。来場の際は必ず身分を証明できるものをお持ちください。
- ④ 試験室内では試験監督員の指示に従ってください。従っていただけない場合は退室していただき、「失格」となる場合があります。
- ⑤ 不正手段を用いて受験した者は、即刻退出を命じます。さらに、不正行為を行った者に対しては、その後2年以内の受験が禁止されます。
- ⑥ 携帯電話等の通信機器・電子機器は、試験室内では電源を切り、カバン等にしまってください。
- ⑦ 試験開始後30分以内、および試験終了10分前からは途中退出できません。
- ⑧ 途中退出をする場合は、試験問題と解答用紙を机の上にふせて置き、荷物をすべて持参して退出してください。
- ⑨ 試験問題は持ち帰ることができません。
- ⑩ 試験室内は禁煙です。休憩中の喫煙は定められた場所以外では厳禁です。
- ⑪ 試験中のペットボトルの持ち込みはできますが、保温ケースや水筒、缶は持ち込めません。
- ⑫ 昼食、飲み物は各自で準備してください。ゴミはお持ち帰りください。

(6) 合否判定

設問内容	問題数	配点	合格基準
① 択一式	30題 (4択式)	60点満点 (2点/1題)	30点以上 (50%以上)
② 専門技術論述	2題 (5題から選択) (400字/1題)	30点満点 (15点/1題)	合計得点が 20点以上 (50%以上)
③ 経験論述	1題 (800字/題)	10点満点	
合計点 (総合点)		100点	合計得点が 60点以上

(7) 登録・認定

1) 合格発表

- ・平成29年8月中旬～下旬頃、受験者に合否通知書を郵送します。
- ・電話による合否の問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。

2) 登録申請

- ・合格者に対して、自然再生士登録手続きの案内を行いますので、合格通知日より3ヵ月以内に登録の手続きをお願いします。
- ・登録手数料は10,000円(税込)です。
- ・登録者は、自然再生士登録簿に記載されます。

3) 認定書の送付

- ・登録者には、概ね10月中旬から下旬頃を目途に「自然再生士認定証」が交付されます。

(8) 登録更新・再認定

1) 初回登録更新

- ・自然再生士として認定を受ける有効期間は5年間です。
- ・登録更新手数料は10,000円(税込)です。
- ・登録者は、以下に示す2つの方法により、登録更新・再認定を受けることができます。
- ・詳細は、当センターHPをご覧ください。か、更新手続きが必要となる年度にご案内します。

【方法①】単位取得(125単位)による方法

⇒「造園CPD単位」と、「その他建設系CPD単位」および「任意単位^{※1}」等を合計して125単位以上^{※2}の取得により、自然再生士の登録更新を行う方法です。

【方法②】『技術研修会等』の受講による方法

⇒技術研修会等^{※3}とは、自然再生士の資格取得者を対象に、自然再生、環境保全、生物多様性に関連する知識、能力、技術力の向上を目的として、実践的なカリキュラムで行う研修会のことです。この研修会等の受講^{※4}により、自然再生士の登録更新を行う方法です。

※1. 任意単位とは、主に(一財)日本緑化センターが独自に規定する単位のことです。造園CPDの登録プログラムに該当しないものが対象となります。

※2. CPD単位と任意単位のそれぞれの上限は特に設けません。

※3. 技術研修会等は、毎年実施する研修会(東京、大阪の輪番制)のほか、自然再生士資格委員等が講師となる実地研修(鳥取県、福井県、静岡県、岩手県)、当財団が運営する『樹木と緑化の総合技術講座』の前期講座のうち、2日間(初日、2日目)の講座を対象としています。今後、更新対象プログラムについては、随時増設予定です。

※4. 更新のための技術研修会等の受講は、3～5年目に開催するもののうち、いずれか一回の受講が条件となります。

3. 受験申込書の記入について

(1) 記入方法

1) 自然再生士資格試験申込書（様式第1号）

① 試験会場

平成29年度の試験会場は、東京会場のみです。

② 氏名・押印

氏名とふりがなは、姓と名を分けて記入してください。

受験票ならびに合否通知、認定証は申請による氏名に基づいて発行・発送を行いますので、楷書で正確に記入してください。押印も必ず確認してください。

③ 性別

男性と女性のどちらかを○で囲んでください。

④ 生年月日

生年月日は、和暦のひとつを○で囲み、申込み時点での満年齢を記入してください。

合わせて西暦も併記してください。

⑤ 本籍地

本籍地は、都道府県までの記入としてください。

⑥ 現住所

発送物が確実に届くように、マンション・アパート名、棟番号、部屋番号を正確に記入し、同居の場合は同居先名を記入し、配達者が確実に分かるように記入してください。

住所には、ふりがなをふってください。

電話番号は、自宅ならびに携帯をお持ちの方は、携帯番号もご記入いただき、確実に連絡がとれる番号の種別(自宅、携帯)を○で囲んでください。

⑦ 都道府県コード

⑥の現住所の都道府県の対応する数字を、次の表から選んで記入してください。

1	北海道	11	埼玉県	21	岐阜県	31	鳥取県	41	佐賀県
2	青森県	12	千葉県	22	静岡県	32	島根県	42	長崎県
3	岩手県	13	東京都	23	愛知県	33	岡山県	43	熊本県
4	宮城県	14	神奈川県	24	三重県	34	広島県	44	大分県
5	秋田県	15	新潟県	25	滋賀県	35	山口県	45	宮崎県
6	山形県	16	富山県	26	京都府	36	徳島県	46	鹿児島県
7	福島県	17	石川県	27	大阪府	37	香川県	47	沖縄県
8	茨城県	18	福井県	28	兵庫県	38	愛媛県		
9	栃木県	19	山梨県	29	奈良県	39	高知県		
10	群馬県	20	長野県	30	和歌山県	40	福岡県	50	外国

⑧ 勤務先

勤務先名称、所属部・課名まで記入し、ふりがなをふってください。住所と電話番号を必ず記入し、直通、代表のどれかを○で囲んでください。書類に不備がある場合など、お問い合わせをすることがあります。平日、確実に連絡がとれる番号をご記入願います。

住所には、ふりがなをふってください。

⑨ 勤務先業種コード

現在の勤務先の業種に該当する番号を、次の表の中から1つ選びご記入願います。

いくつもの業種にまたがる場合には、ご本人が担当する職務内容で最も該当する項目を1項目だけお選びください。

いずれにも該当しない場合には、具体的にご記入願います。

番号	職種
1	建設業（土木業を除く建設業一般） 関係
2	土木業 関係
3	造園業 関係
4	農業土木、林業関係
5	計画・設計 関係
6	調査・分析 関係
7	教育機関(教職員を含む)・研究機関
8	行政機関(国)・関係機関
9	行政機関(地方公共団体)及び関係機関
10	財団法人・社団法人
11	法人格を有さない市民団体等
12	組合（連合会含む）
13	特定非営利活動法人（NPO）等
14	その他 1～13に当てはまらない場合、具体的職種を記入してください。

⑩ 最終学歴

最終学歴の学校・学部・学科名および卒業年月日を記入してください。該当する和暦を○で囲んでください。

⑪ 受験資格

受験資格に該当する項目に○を付けて、卒業年月をご記入ください。

また、自然再生士補の認定を受けている方は、認定を受けた年月をご記入ください。

⑫ 受験票等、郵便物の送付先

受験票（記載住所の確認）と合格通知、申請書類、資格認定証等の送付希望先に○を付けてください。

2) 実務経歴書 (様式第2号)

- ① 業務内容については、自然再生、環境保全に関わる事業、業務、ボランティア活動、調査・研究、人材育成 (環境教育を含む) に従事した内容とその期間をご記入ください。
- ② 受験資格に必要な実務経歴年数以上となることを確認してください。
- ③ 業務・活動等の年数が重複しないように確認してください。合計と実務経歴年数が同じになるように注意してください。
- ④ 受験手数料の振込証明書 (コピー可) を、貼付欄にのり付けしてください。枠内に収まらない場合は折りたたんでください。

3) 経験論述 (様式第3号) **※事前提出が義務付けられます。**

- ① 実務経歴書に記入された経歴の中より 1 つを選び、規定の用紙に 800 文字以内で詳しく記載してください。
手書き、パソコンによる清書はどちらでも可とします。
手書きの場合は、楷書により丁寧な文字で記載してください。
1マス目に1文字とし、2文字以上を書き込むことはしないでください。
※規定条件に違反すると、減点となりますのでご注意ください。
- ② 経験論述の内容は、次の項目ごとに簡潔に論述してください。
 - ア. 履行場所と期間
 - イ. 全体的な概要とあなたの役割
 - ウ. 自然再生に係る特徴と、配慮点や工夫点
 - エ. 客観的な自己評価

<実務の例>

- ① 過去に自然環境が破壊、消失した場所で、潜在的な自然環境、地域文化を理解し、自然環境を再生する事業に携るもの。
- ② 公共事業をはじめ、周辺自然環境との連携と保全・育成にかかわる調査、計画、設計、施工、管理、研究に携るもの。
- ③ 里山環境の保全・育成をとおして地域の自然環境と里山景観の保全、生物多様性の向上にかかわる調査、計画、設計、施工、管理、研究、活動に携るもの。
環境構成としては、山林環境、二次林環境、畑地、水田、道路、河川(水路)等による。
- ④ NPO 活動等、フィールドの中で、自然環境の保全・育成活動を通して、保全管理、維持補修活動に携るもの。
- ⑤ 環境保全・自然再生に関連した講座や、講習会、現場指導を通して人材育成を推進又は環境教育活動を通して自然との係りを推進するもの。

(2) 申込書等の書式

受験申込みに必要な書類は、次頁以降の書式をコピーしてご利用ください。

HP からも入手可能です。URL: <http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p05.html>

- ・ 自然再生士資格試験申込書 (様式第1号)
- ・ 実務経歴書 (様式第2号)
- ・ 経験論述 (様式第3号)

自然再生士資格試験申込書

申請年月日 平成 年 月 日

受付番号	※	試験会場	1. 東京会場	
ふりがな				
氏名	姓	名		
性別	男・女			
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (年齢 歳) (西暦 19 年)			
本籍地	(都道府県のみ記入)			
現住所 (ふりがな)	〒	—	都道府県コード	
自宅か携帯か確実に連絡がとれる方を○で囲んでください。	TEL (自宅)	—	—	
	(携帯)	—	—	
	FAX	—	—	
	E-mail アドレス			
勤務先	(ふりがな) 名称			
	所在地 (ふりがな)	〒	—	勤務先業種コード
		TEL	—	— (直通・代表)
	FAX	—	—	
	E-mail アドレス			
最終学歴	最終卒業学校名	学部・学科名	在籍期間	
			昭和・平成 年 月	～ 年 月
受験資格	該当するものに1つ○を記して、必要事項をお書きください。			
① 四年制大学・大学院卒	【卒業年月】	昭和・平成	年	月
② 短大卒・専門学校卒・高専卒	【卒業年月】	昭和・平成	年	月
③ 高校卒・高等学校卒業程度認定試験合格者	【卒業年月】	昭和・平成	年	月
④ 自然再生士補認定者	【認定年月】	平成	年	月
⑤ 上記の学歴・資格によらない				
受験票等、郵便物の送付先	①自宅(現住所)	②勤務先	③その他	(←必ず何れかに○をつけて下さい)

自然再生士資格試験申込書作成上の留意事項

- 様式第1号～3号共通
鉛筆以外の青又は黒の筆記用具を使用し、文字は楷書で正確に記入すること。(パソコン等による作成可)
- 様式第1号関係
 - ※の欄は記入しないでください。
 - 受験資格は、該当するものに○を付け、受験に必要な実務経験年数を有することが条件となります。
 - 受験票等、郵便物の送り先に必ず、葉書に記載した住所を確認の上、送付を希望する番号に丸をつけてください。

実務経歴書

事務所又は勤務先 (部・課まで)	所在地 (市区町村まで)	地位 職名	実務内容	従事期間	
				年・月～年・月	年月数
				年 月～ 年 月	年 月
				年 月～ 年 月	年 月
				年 月～ 年 月	年 月
				年 月～ 年 月	年 月
				年 月～ 年 月	年 月
				年 月～ 年 月	年 月
				年 月～ 年 月	年 月

<受験手数料の振込証明書貼付欄>

- ※実務内容については、自然再生、環境保全に関わる事業・業務・活動・調査・研究・人材育成(環境教育を含む)に従事した内容とその期間をご記入ください。
- ※受験資格に必要な実務経験年数以上となることを確認してください。
- ※実務経歴書に記入された経歴の中より、アピールする事業・業務・活動・調査・研究・人材育成(環境教育を含む)を1つ又は2つ選び、実務経験確認書に詳しく記載してください。

平成29年度自然再生士資格試験 受験の手引き

発行 2017年 3月

発行人 進藤 清貴

発行所 一般財団法人 日本緑化センター
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル
TEL 03-3585-3561 FAX 03-3582-7714
メールアドレス : saisei@jpgreen.or.jp
ホームページ : <http://www.jpgreen.or.jp>
